

令和 8 年(2026 年) 9 月 2 5 日

保護者の皆様

札幌市立和光小学校

校長 岩清水 剛志

全国学力・学習状況調査における本校の結果について

秋晴の候、保護者の皆様におかれましてはますます御健勝のこととお喜び申し上げます。また、本校の教育活動に御理解と御協力を賜り、感謝申し上げます。

さて、今年 4 月に 6 年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査の結果についてお知らせいたします。この結果を本校の教育活動に生かし、指導方法の改善を図ってまいります。

1. 実施日 令和 8 年 4 月 2 3 日（木）

2. 調査の内容

＊教科に関する調査（国語・算数）

- 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容
- 実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など
- 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力などに関わる内容
- 様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などに関わる内容

＊生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

- 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

3. 実施人数（小学 6 年生） 本校：68 人【全国： 国語 922,411 人 算数 922,788 人】

4. 教科に関する調査の結果

＊「ほぼ同程度」→全国の平均正答率と比較して±3 ポイントの範囲内 / 「上回る・下回る」→±3.1 ポイント以上

【国語】

本校の概要

「言葉の特徴や使い方に関する事項」

- 全国平均を上回っている

「情報の扱い方に関する事項」

- 全国平均を下回っている

「話すこと・聞くこと」

- ・全国平均とほぼ同程度

「書くこと」

- ・全国平均とほぼ同程度

「読むこと」

- 全国平均を上回っている

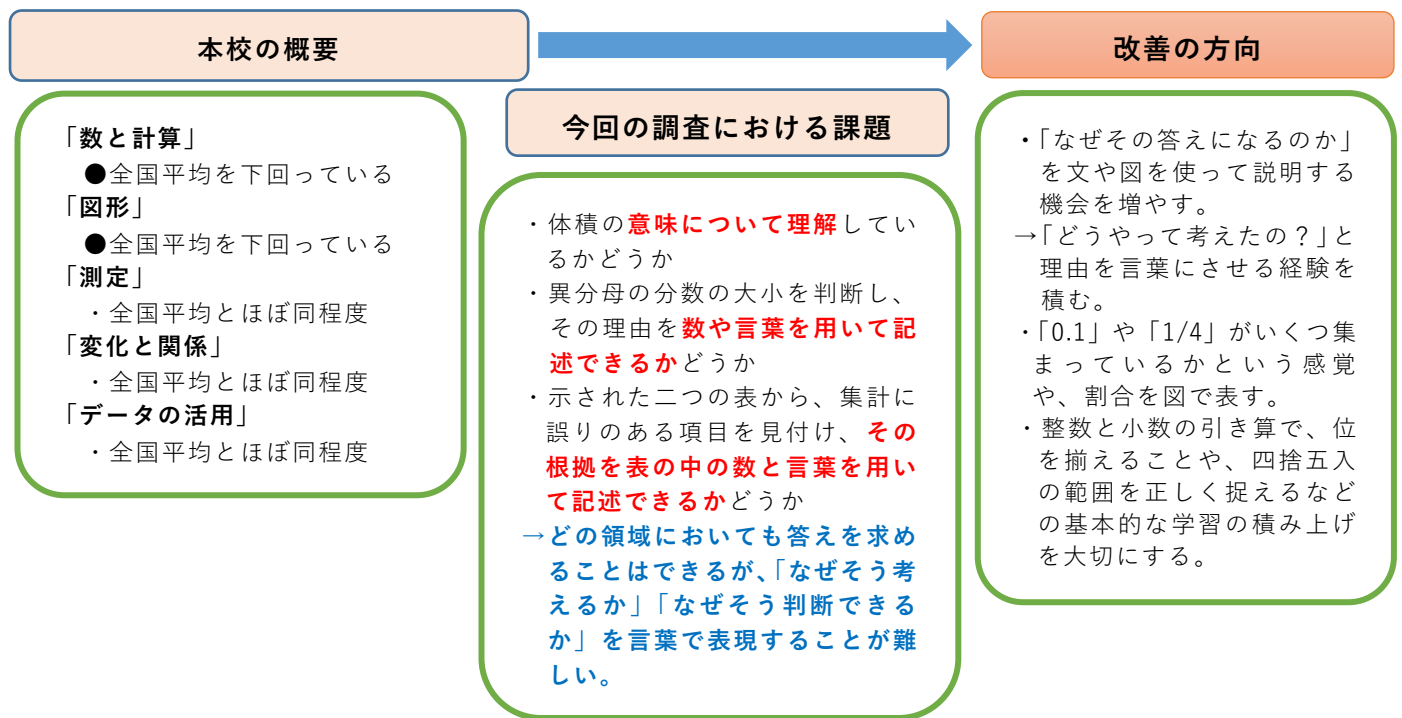
今回の調査における課題

- ・引用して、**自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫**することができるかどうか
- ・考えとそれを支える理由や事例など**情報と情報との関係について理解**することができるかどうか
- ・**相手に伝わるように**、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えることができるかどうか
- 自分の考えや思いを表現することはできるが、相手意識をもち、「より相手が分かりやすいように」と考えることが難しい。**

改善の方向

- ・ただ意見を言うだけでなく、「なぜなら～だから」「例えば～」と理由や具体例を出して伝えるようにする。
- ・自分が伝えたいことを納得してもらうために、文章の言葉を正しく引用して活用する。
- ・自分の考えと、その理由（証拠や事例）のつながりを、図で表す思考ツールを活用する。
- ・「私はこう思う。理由は○○で、具体的には～だからです」という伝わりやすい組み立ての型を身に付け、相手に納得してもらえ発信力を育む。

【算数】



5. 質問紙調査票の結果

児童の生活習慣や学習環境に関する質問について、全国平均と比較し、本校の特徴的だった質問事項を抜粋しています。

<全国と比較して肯定的な意見が上回っているもの>

1. 学校生活の楽しさと満足度

- ・学校に行くのは楽しいと思いますか
→学校生活全般に対して非常に高い肯定感、楽しさを感じています。

2. 国語学習への興味・関心および理解度

- ・国語の勉強は好きですか ・国語の勉強は得意ですか ・国語の授業の内容はよく分かりますか
→国語に対する肯定的な意識や学習の達成感が全国と比べて際立って高い傾向にあります。

3. ICTを活用した表現・発表能力の実感

- ・PCやタブレット等でプレゼンテーションを作成できると思いますか
- ・総合的な学習の時間でICT機器を使って情報収集・整理・発表できていますか
→単に使うだけでなく、プレゼン資料作成や総合的な学習の時間での情報活用など「発信・まとめ」にICTを使いこなせている実感が高くなっています。

4. 自律的な学習姿勢と自分に合った学習の実感

- ・課題の解決に向けて自分で考え自分から取り組んでいましたか
- ・授業は自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか
- ・学級会での話し合いを生かして自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか
→目標をもって学習に取り組んだり、課題解決の見通しをもって取り組んだりしている様子が伺えます。

<全国と比較して肯定的な意見が下回っているもの>

1. 学級内の心理的安全性の実感

- ・あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか
→「違った意見を発表することへの不安」や「否定される懸念」を感じている児童がやや多い可能性があります。

2. 平日・休日の長時間勉強（塾や家庭学習含む）の割合

- ・平日の授業時間以外の勉強時間
- ・休日の勉強時間
→平日、休日ともに学校外（塾や家庭を含む）で勉強する時間が、全国に比べて少ない状況です。